2026 年 11 月 26 日
東京電力ホールディングス株式会社

Ｈ４・Ｈ６エリアタンク漏えいによる汚染の影響調査

①追加ボーリング観測孔の放射性物質濃度推移

②地下水バイパス調査孔・揚水井の放射性物質濃度推移

③排水路の放射性物質濃度推移

④海水の放射性物質濃度推移

サンプリング箇所

○H4･H6 タンクエリア漏えいによる汚染の影響調査

・2013 年にＨ４エリアタンク、2014 年に H6 エリアタンクからの漏えいが発生したことから、周辺環境のモニタリングを開始した。

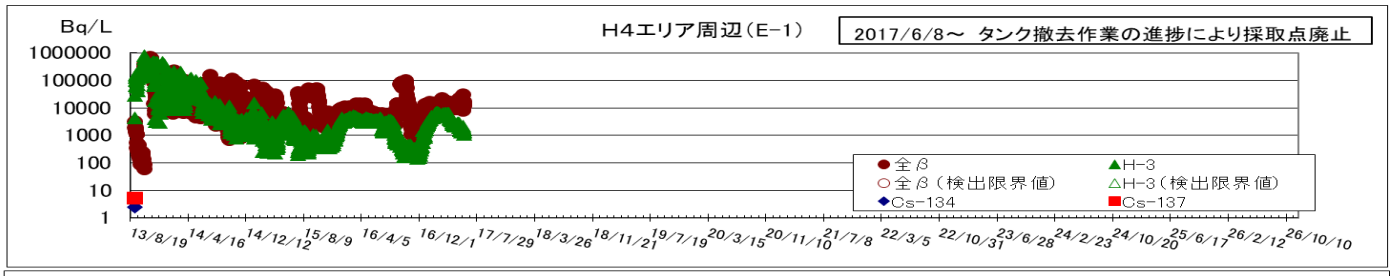
なお、漏えい箇所の土壌は、可能な範囲で回収している。

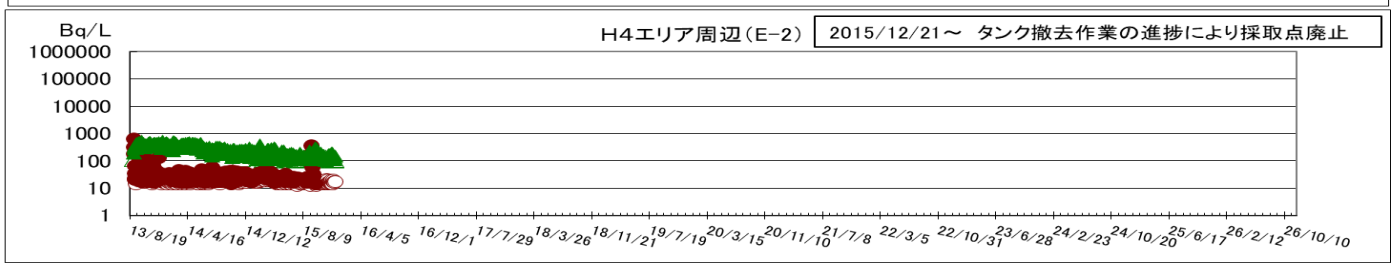
・漏えい箇所については、サンプリング箇所(P8)を参照。

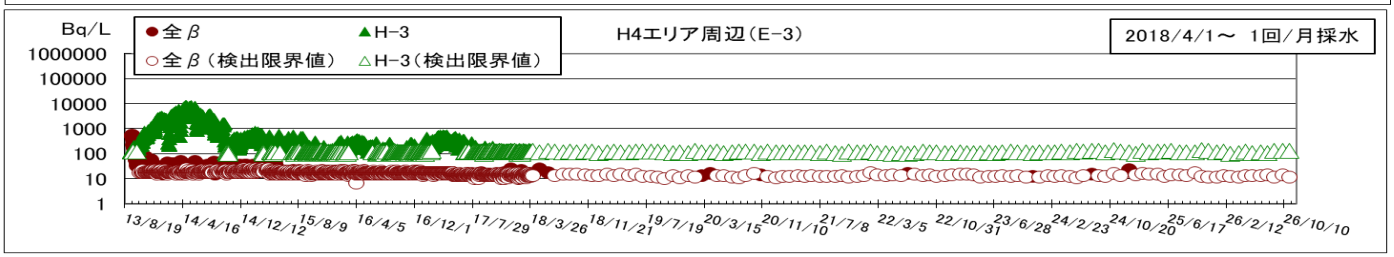
○H4･H6 タンクエリア漏えいに伴う汚染のモニタリング状況

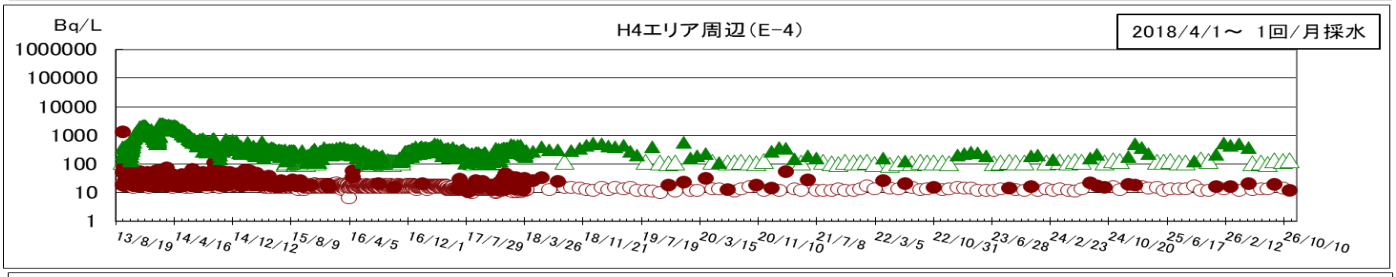
・至近のモニタリング状況は、安定しており大きな変化は見られない。なお、H6 エリア周辺(G-2)においては、2026/7/28 に全β濃度が 219Bq/L まで上昇し、その後は、上下動は見られるが、低下傾向にある。過去の変動範囲内であり、継続してモニタリングしていく。

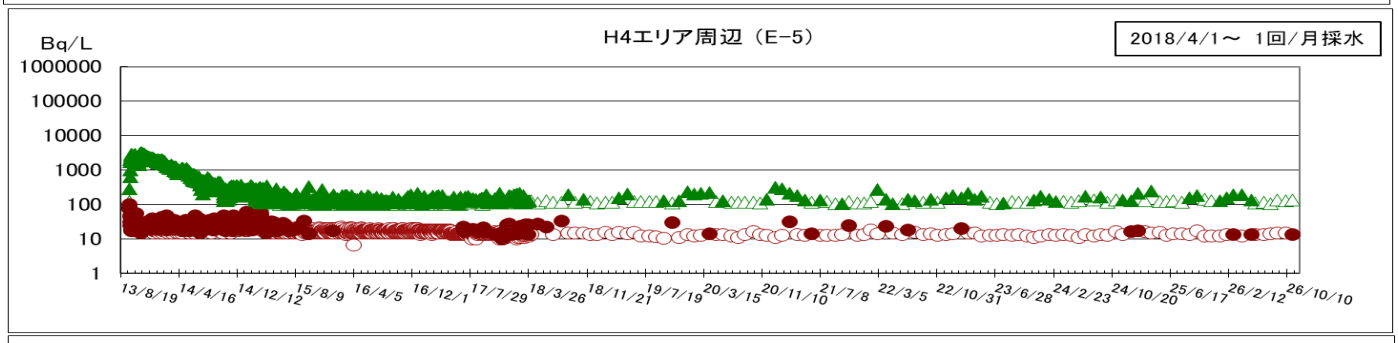
①追加ボーリング観測孔の放射性物質濃度推移（1/3）

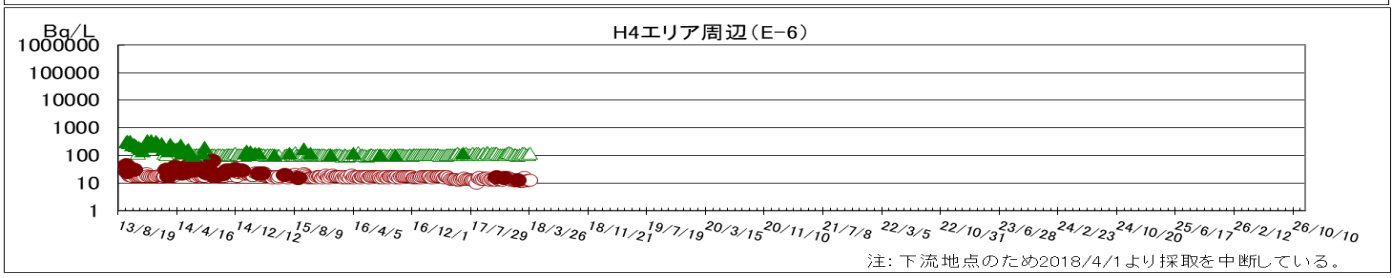


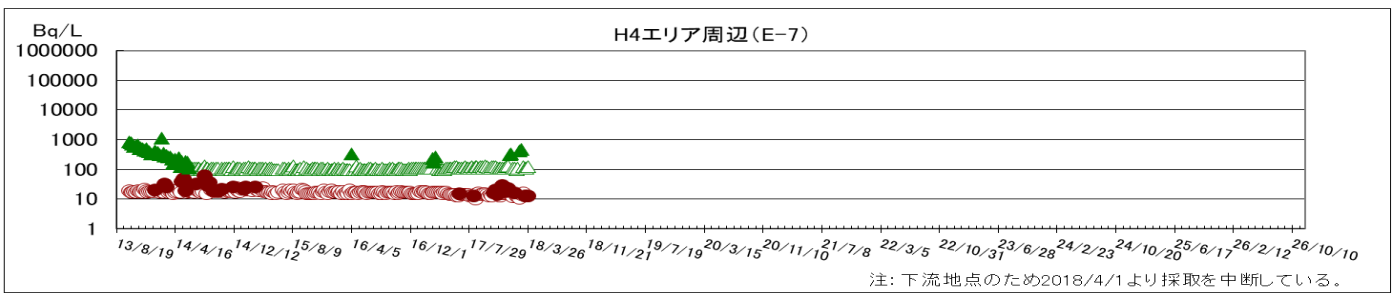




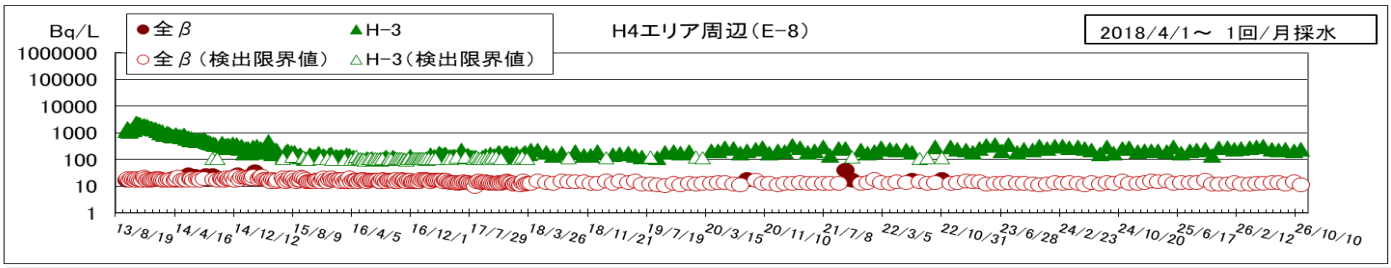


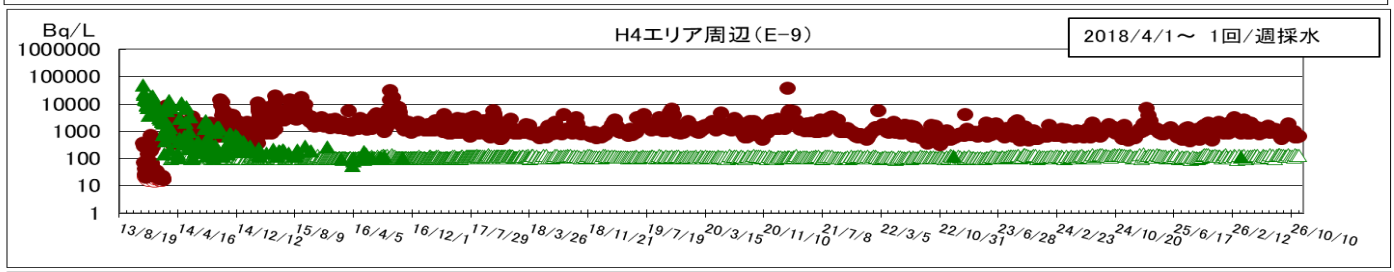


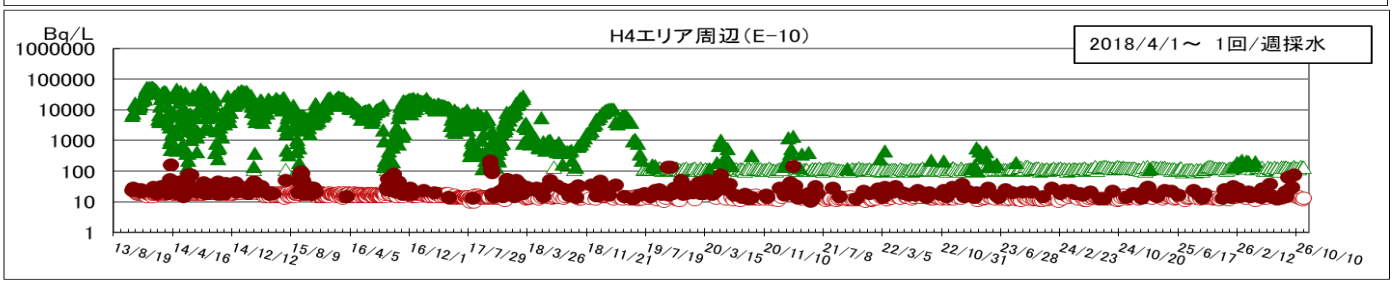


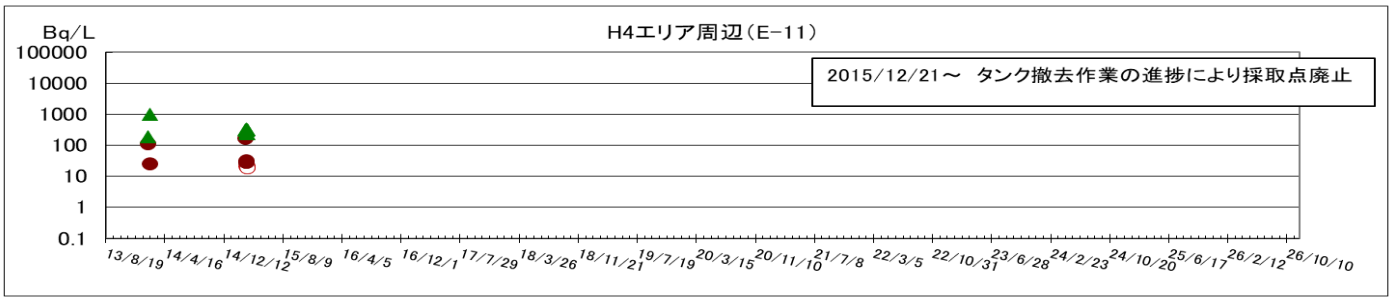


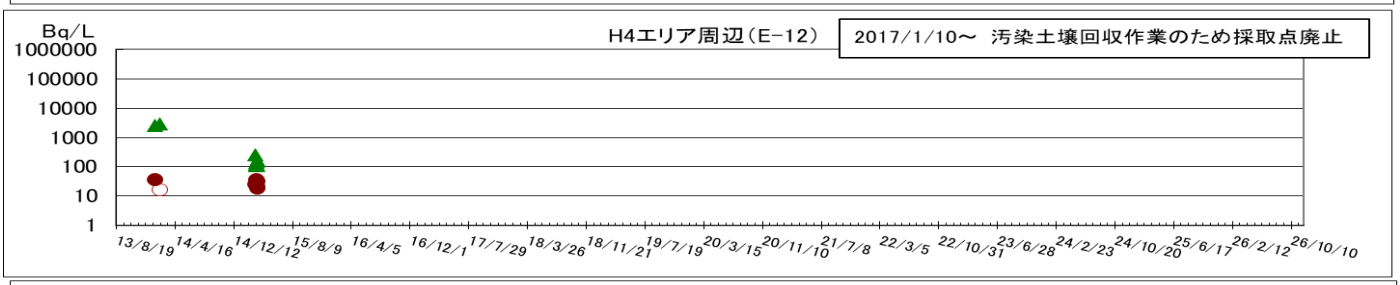
①追加ボーリング観測孔の放射性物質濃度推移（2/3）

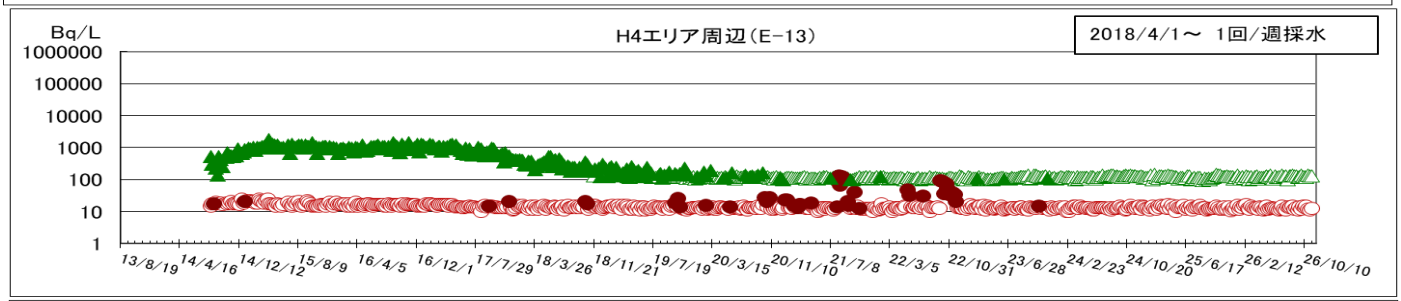


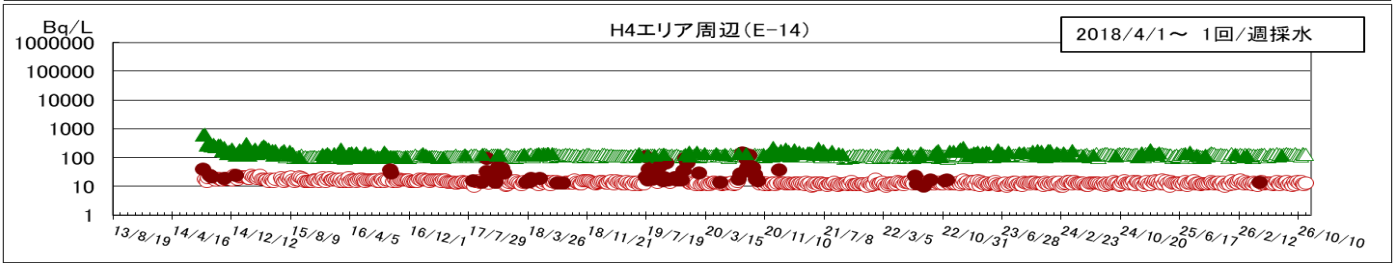




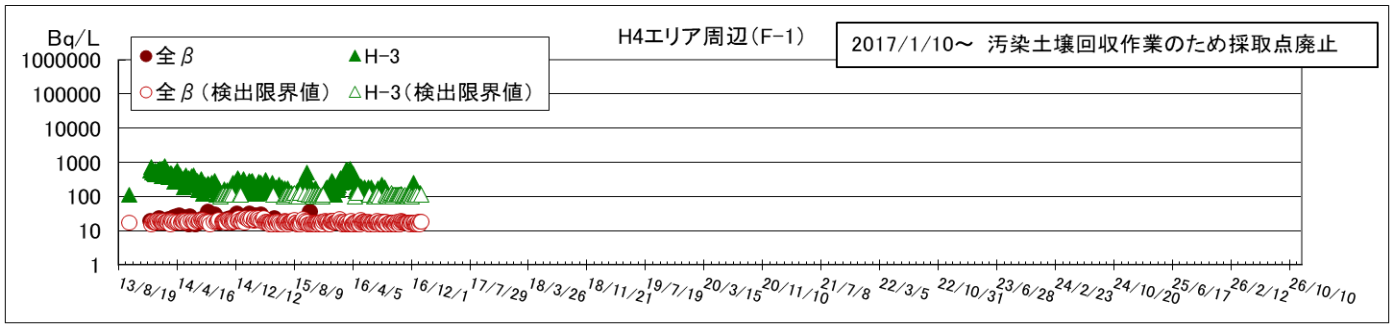


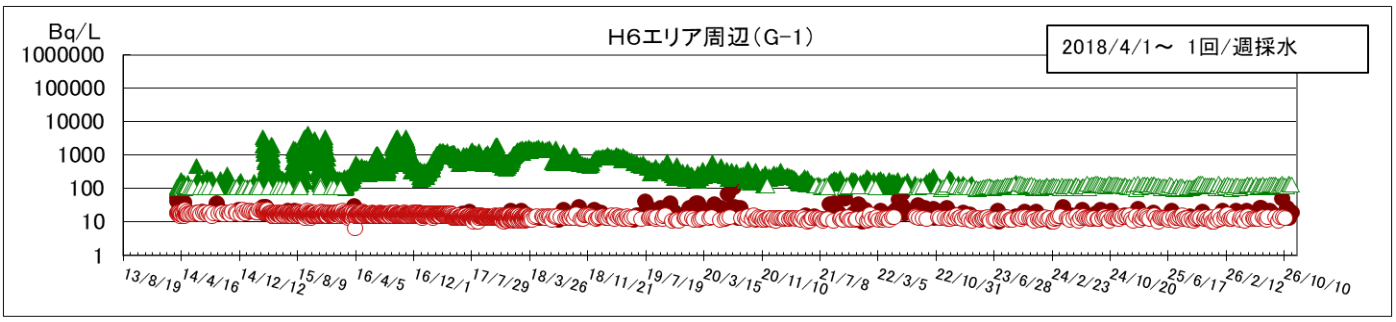


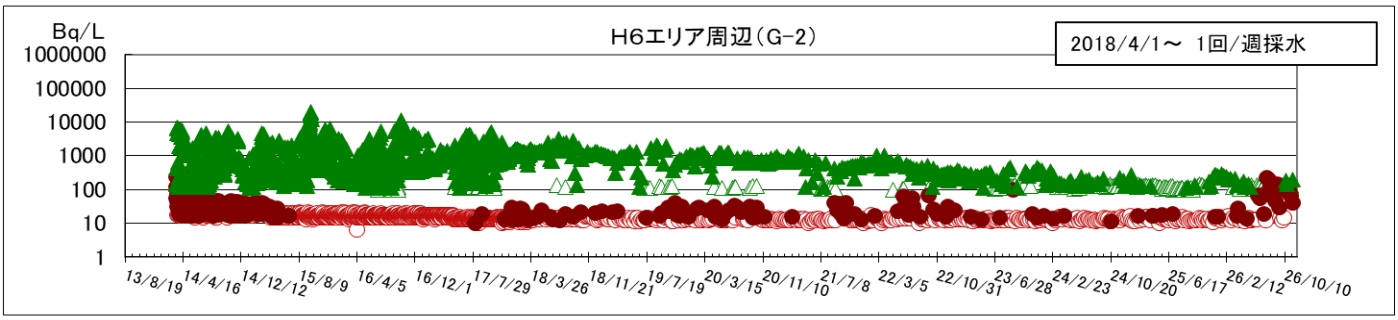


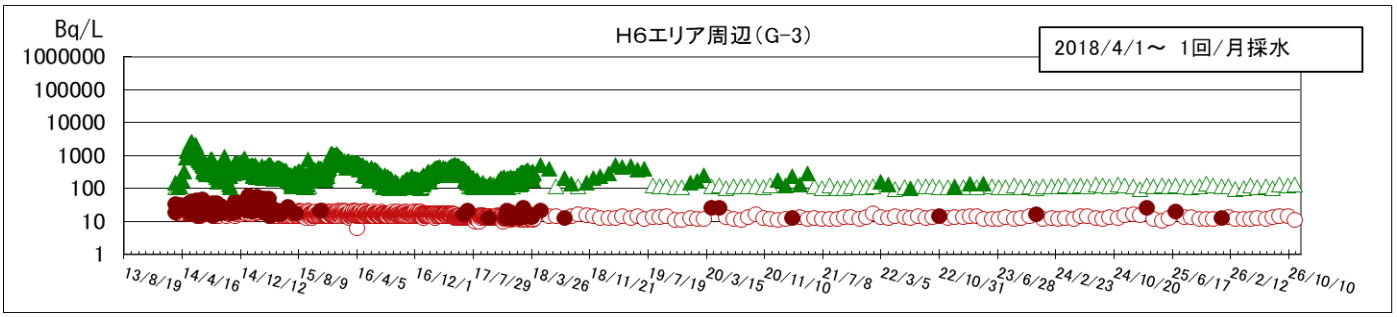


① 追加ボーリング観測孔の放射性物質濃度推移（3/3）





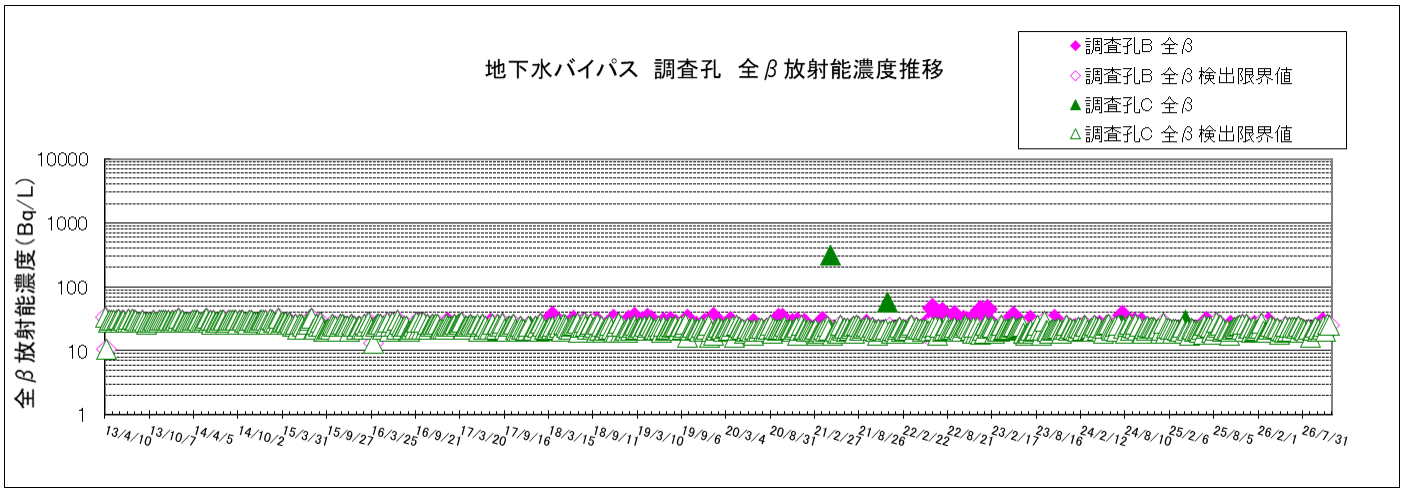




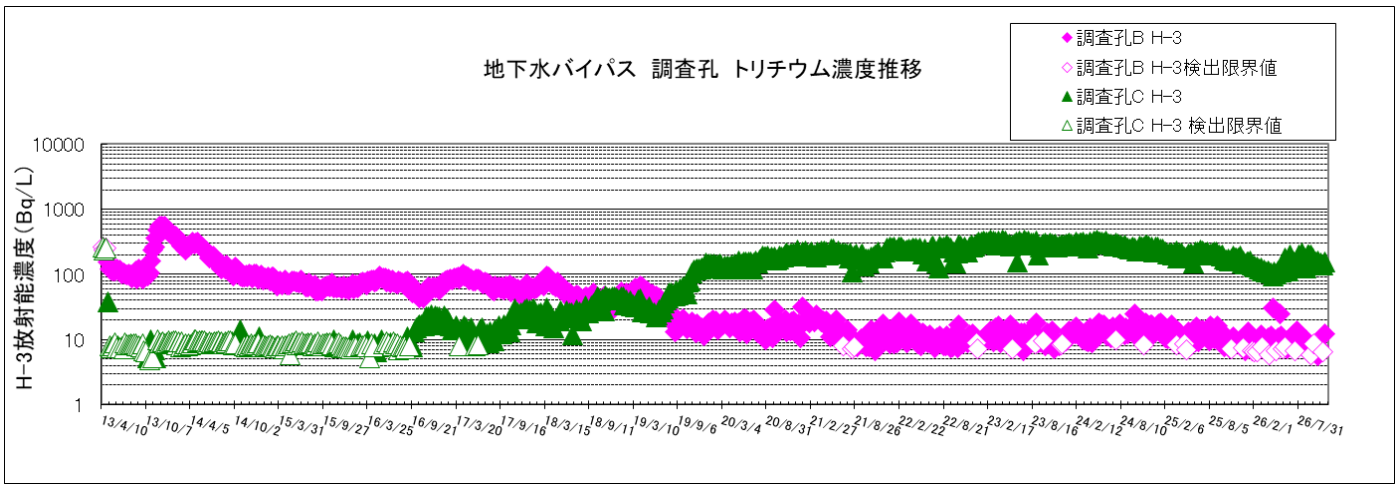
②地下水バイパス調査孔・揚水井の放射性物質濃度推移（1/2）

地下水バイパス調査孔

【全β】



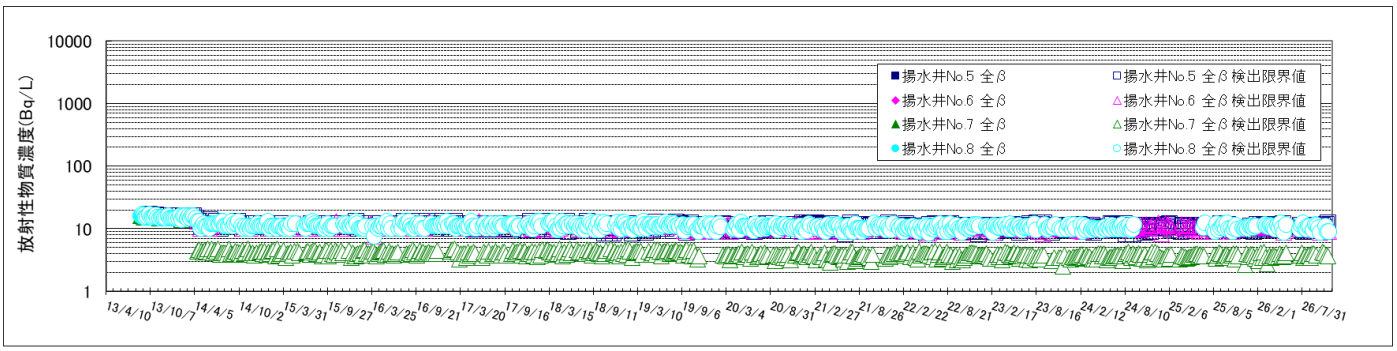
【トリチウム】

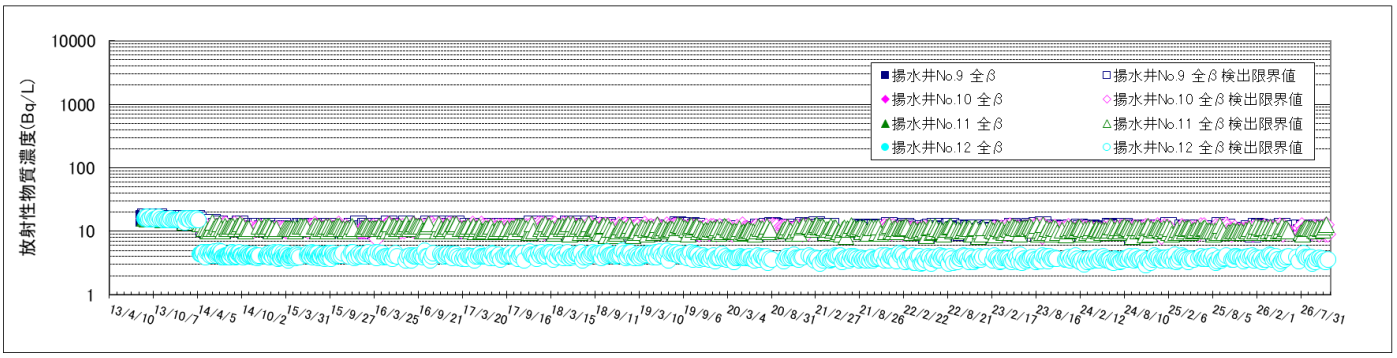


②地下水バイパス調査孔・揚水井の放射性物質濃度推移（2/2）

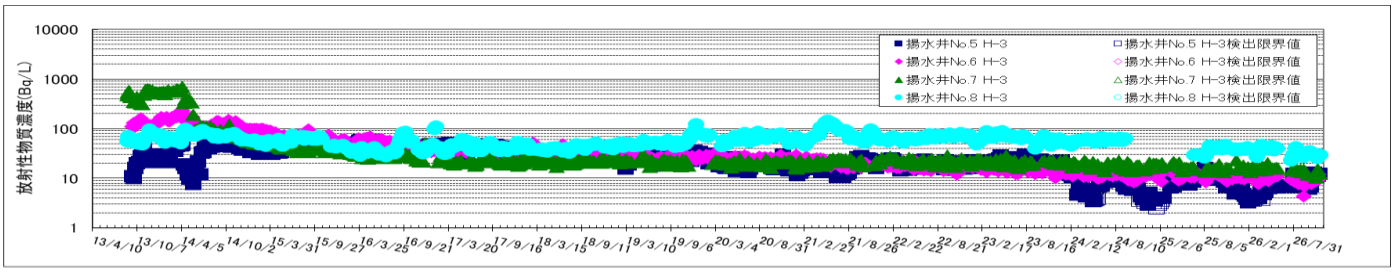
地下水バイパス揚水井

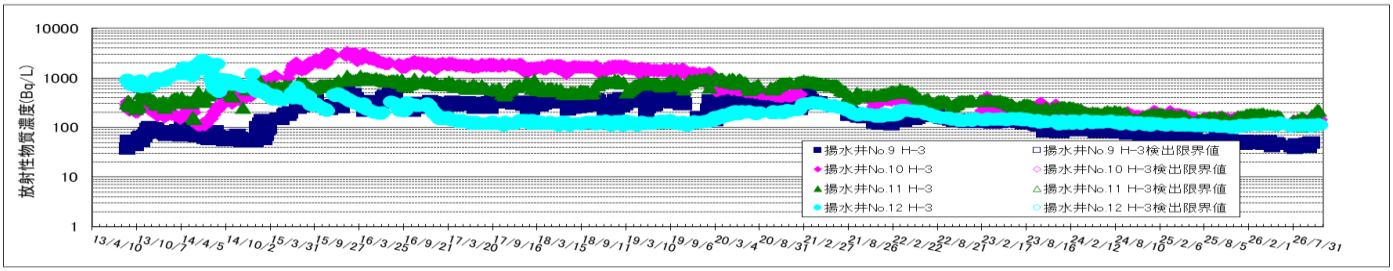
【全β】

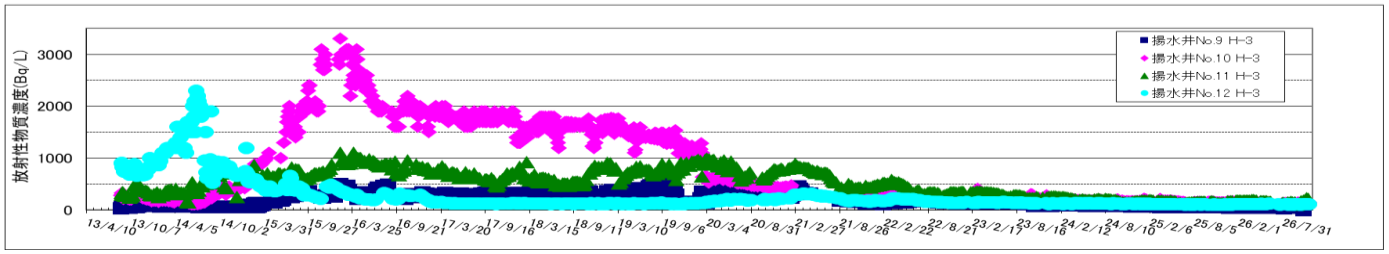




【トリチウム】

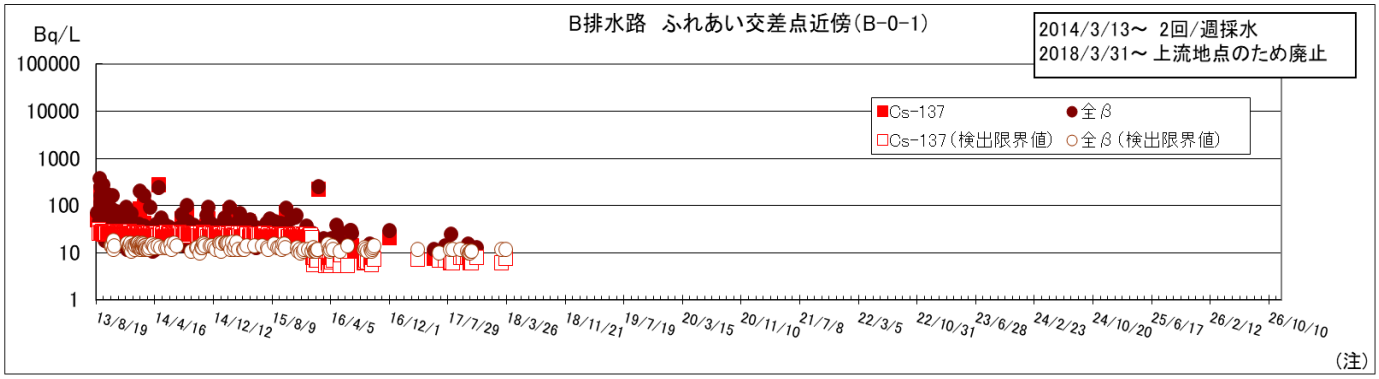


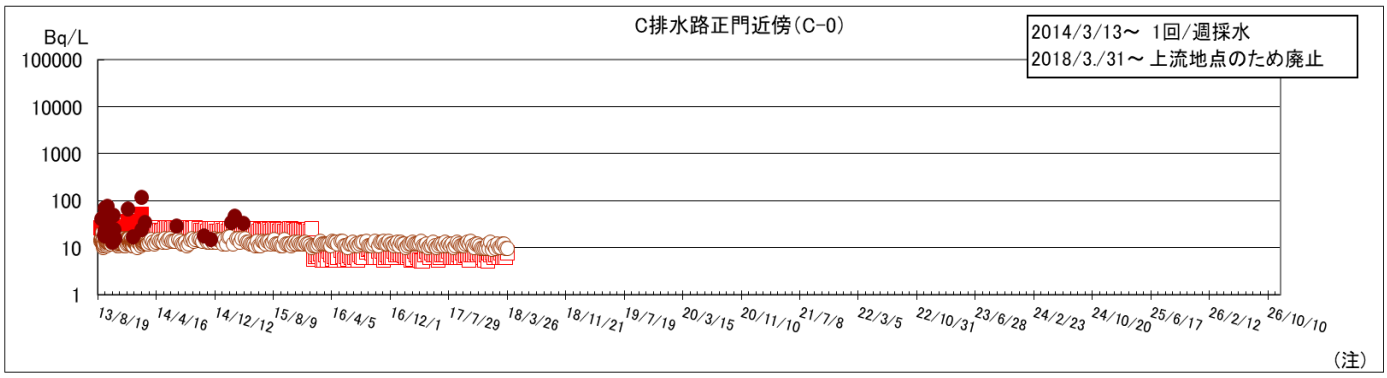


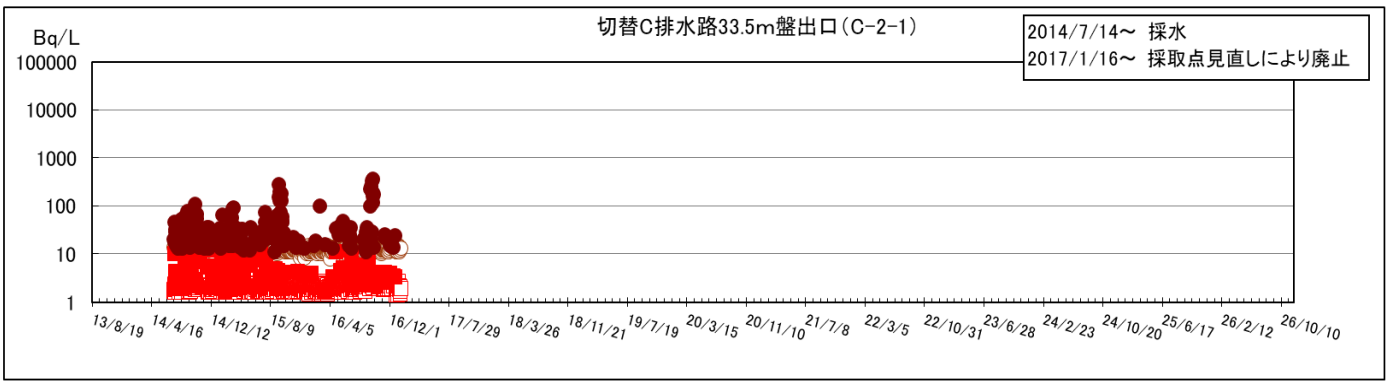


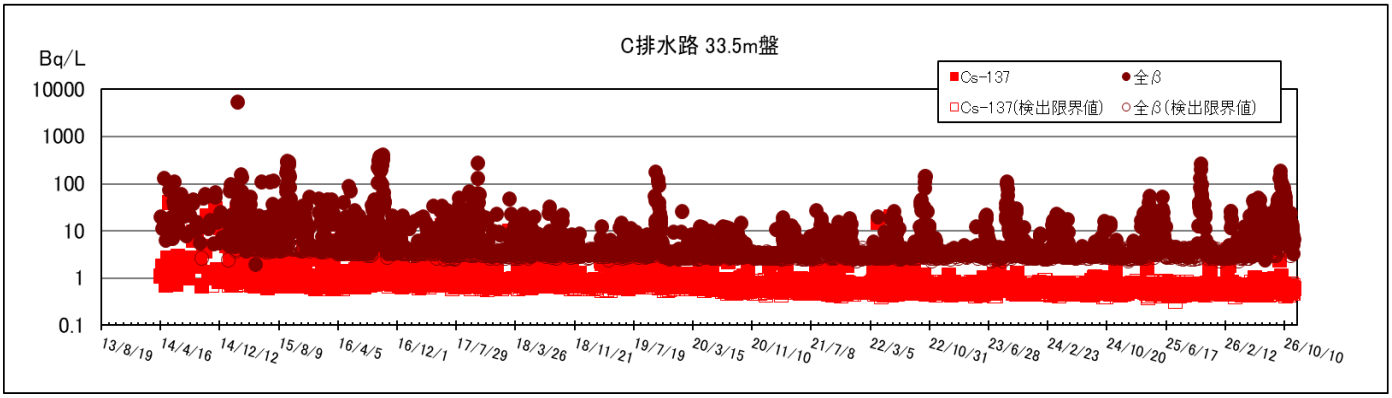
揚水井 No.5,6,10：2026/11/18～2026/11/27 まで、点検に伴い採取中止。揚水井 No.9：2026/10/29～2026/11/16 まで、点検に伴い採取中止。

③排水路の放射性物質濃度推移







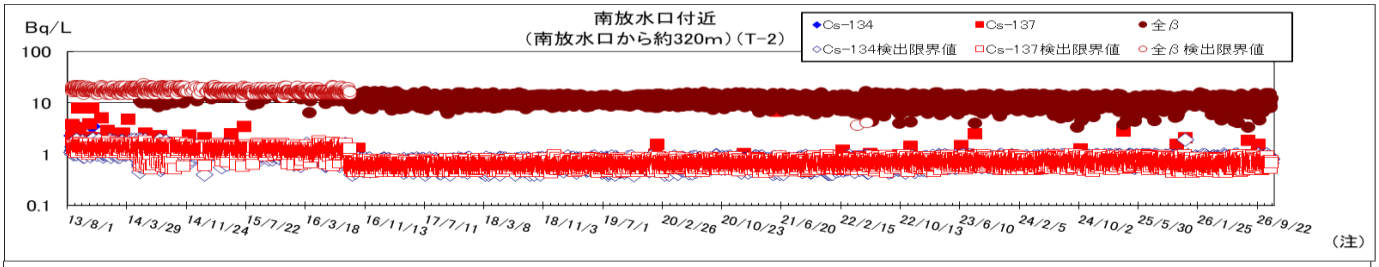


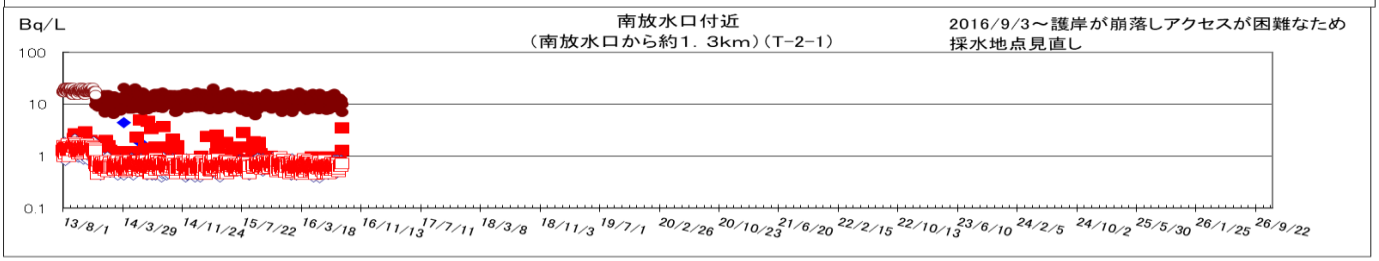
(注)

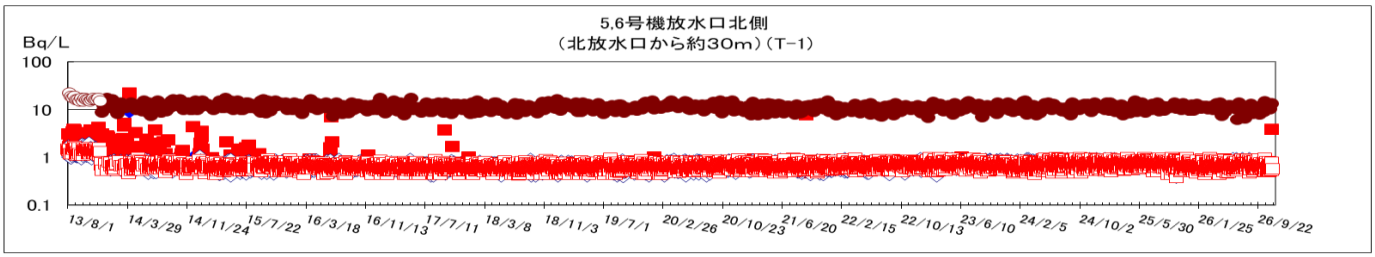
Cs-134,Cs-137 の検出限界値を見直し(B 排水路ふれあい交差点近傍:2016/1/21～、C 排水路正門近傍:2016/1/20～)。

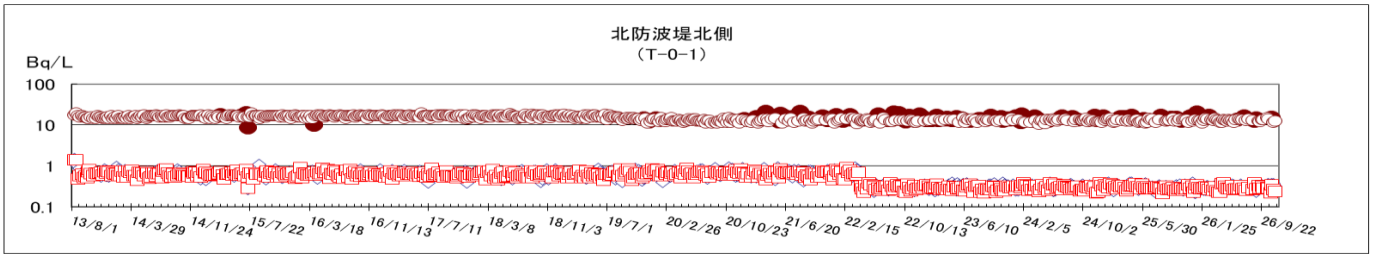
水が無い為採水できない場合がある。

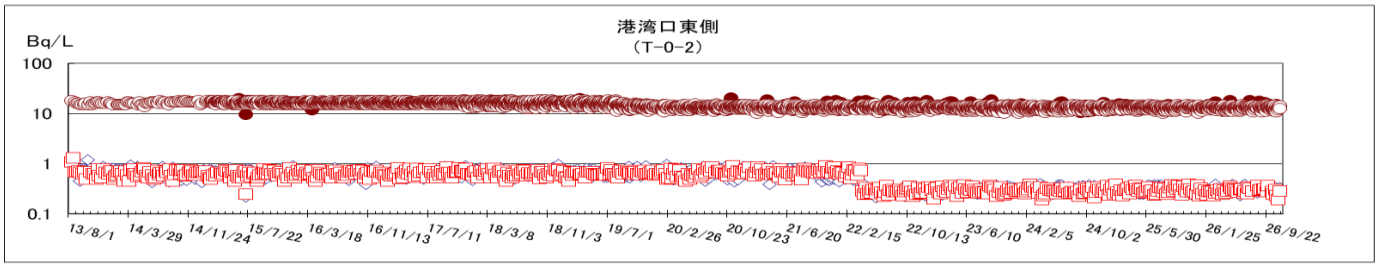
④海水の放射性物質濃度推移

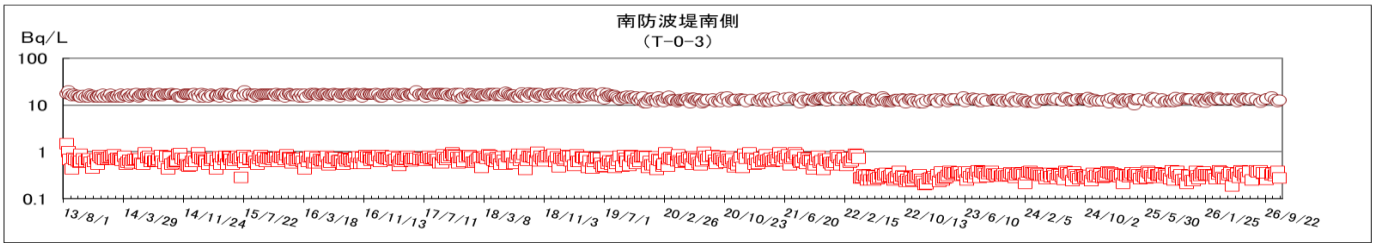












（注）南放水口付近：地下水バイパス排水中に検出限界値を下げて分析したものも表示している。

2016/9/15～ 全βの検出限界値を見直し（20→5Bq/L）。

2017/1/27～ 防波堤補修のため南放水口より約 330m 南の地点から約 280m 南の地点へ変更。

2018/3/23～ 階段の本設化に伴い南放水口より約 320m 南の地点へ変更。

2021/12/17～ 南放水口付近(南放水口から約 320m)(T-2)の試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を南放水口より南側に約 1300m の地点に一時的に変更。

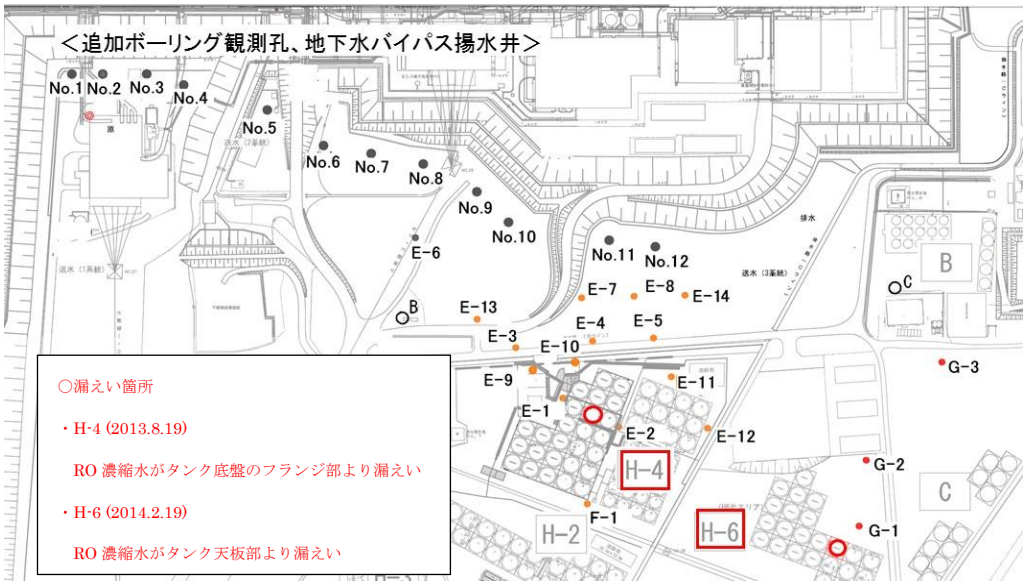
2023/9/13～ 南放水口付近(南放水口から約 320m)(T-2)の試料採取作業の安全確保ができたことから、採取地点を変更。

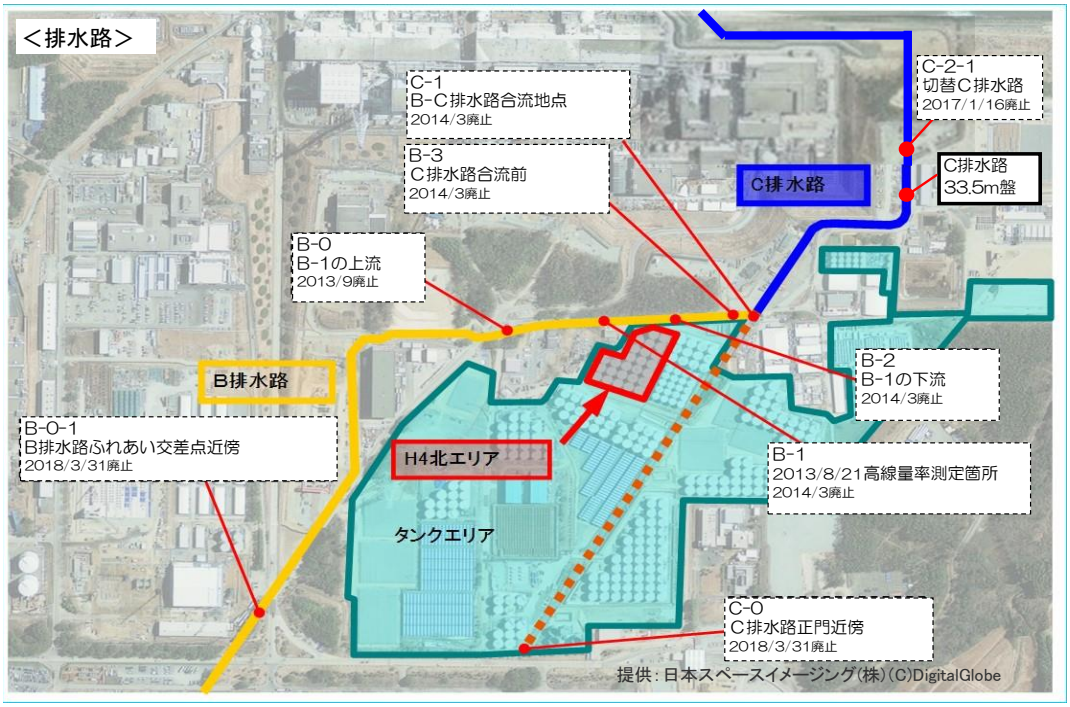
2024/6/11～ 南放水口付近(南放水口から約 320m)(T-2)の試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を南放水口より南側に約 1300m の地点に一時的に変更。

北防波堤北側、港湾口東側、南防波堤南側：全βの検出が増えたため 2015/7 /13 は第三者機関においても検出限界値を下げて分析したものも表示している。

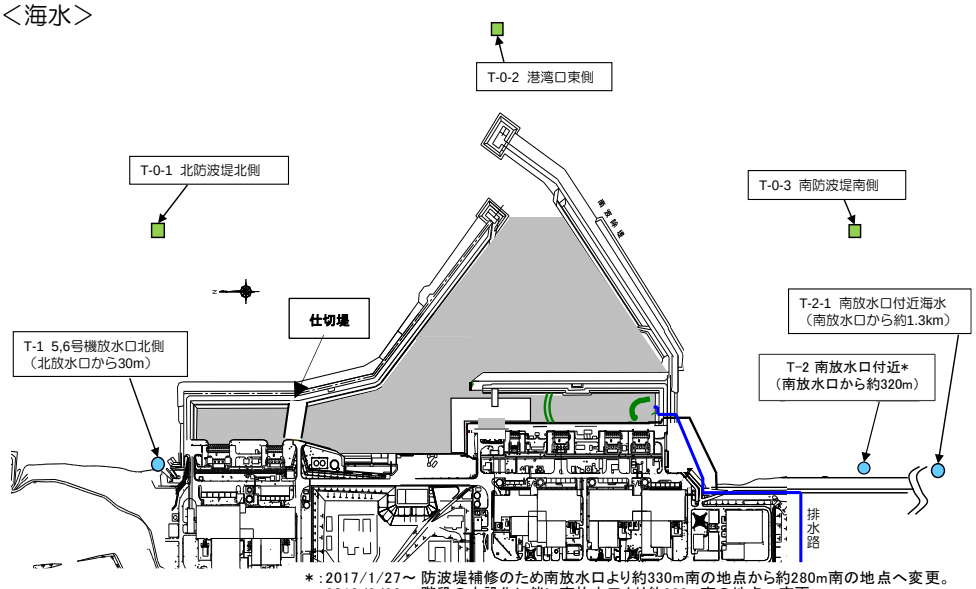
2022/4/18～ 北防波堤北側、港湾口東側、南防波堤南側の Cs-134,Cs-137 の検出限界値を見直し(1.0→0.4Bq/L)。

サンプリング箇所





＜海水＞



＊：2017/1/27～ 防波堤補修のため南放水口より約330m南の地点から約280m南の地点へ変更。
2018/3/23～ 階段の本設化に伴い南放水口より約320m南の地点へ変更。
2021/12/17～ 試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を南放水口より南側に約1300mの地点に一時的に変更。
2023/9/13～ 南放水口付近(南放水口から約 320m)(T-2)の試料採取作業の安全確保ができたことから、採取地点を変更。
2024/6/11～ 試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を南排水口より南側に約 1300m の地点に一時的に変更。